

羽島市映画資料館

みんなで・じもと・じまん

昭和の映画スターに会える!



洋画、邦画のチラシ1千枚を展示した企画展。6月21日(日)まで。



昭和46年、37年間続いた歴史の幕を閉じます。

平成の時代になり、取り壊しが決定されたものの、市民がこれに反対したことをきっかけに、市が館内を調査したところ、当時のスチール写真や照明器具などの貴重な資料を約3,000点発見。これらの資料や過去の作品を保存するため、建物は「羽島市映画資料館」として新築され、さらに別の場所

にあった「羽島歴史民俗資料館」を移転併設します。

コアなファンがいます。

館内に足を運びいれると、ノスタルジックな映画のポスターがずらり。映写機やスピーカーといった音響設備などの展示物も充実し、映画の原点を辿ることができます。竹鼻まつりの期間中や毎月第2土曜の「映画のつどい」では、昔懐かしい16ミリ映画を映写機で放映。美空ひばりや石原裕次郎など、昭和の大スターが出演する作品を求めて、各地から新幹線に乗って来館するファンもいるそうです。



昔懐かしい雰囲気です。

映画文化の保存をめざす。

「竹鼻朝日館」(羽島市竹鼻町)は、総収容数300人の規模を誇る地域中心の映画館でした。開館は昭和9年。折しも映画全盛期で、市民の娯楽の場として長年にぎわっていたそうです。しかし、テレビの普及により映画人気が衰退。



エコツツ

エコムつうしん 43号 -6月号-

43

生物多様性

- ここが知りたい! エコムちゃん
なごや生物多様性センター
- みんなで・じもと・じまん「羽島市映画資料館」



「エコツツ」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。

エコムちゃん

エコツツ 43

平成27年6月発行

発行：エコムカワムラ株式会社 岐阜県安八郡輪之内町里85番地の3

TEL 0584-68-2033 (代)

制作：Ishii Design TEL&FAX：042-973-4004 mail@ishii-design.info

※表紙のイラストは「廃材」を使用しています。今月は「金属くず」で「バラ」をつくりました。

《再生紙を使用》



ここが知りたい!
エコムちゃん

学ぶ

遊ぶ

働く

わたしの町の身近な生きもの
って何だろう・・・

なごや生物多様性センター



平成22年、愛知県名古屋市で「COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)」が開かれたよ。これを発展させていくための拠点として設けられたのが、この施設なんだ。主な活動は、名古屋市内の生きものに関する情報を収集・発信したり、身近な自然の調査・保全活動を推進したりすること。今年2月にも、名古屋の貴重な生きものについて話し合う「希少種シンポジウム2015」が開催されているよ。



「なごや生物多様性サマースクール」(なごや生物多様性保全活動協議会主催)は、毎年夏休みにやる人気のイベントだよ。2014年は、「夏休みの宿題、応援します!」をテーマに9つの講座を開き、生きものに関する体験や観察、ものづくりにチャレンジしたんだ。

2015年もやるよ!
お問合せはお早めに!



サマースクール

標本を作ったり、森や川、田んぼへ出かけたり、今年は13講座を開きます。詳しくは、協議会HP(<http://www.bdnagoya.jp/>)、または、下記へお問合せください。
※7月6日(月)×切り。一部6月22日(月)。
主催: なごや生物多様性保全活動協議会
問合せ先: 名古屋市環境局なごや生物多様性センター
名古屋市天白区元八事五丁目230番地
電話: 052-831-8104(受付時間 平日8時45分~17時30分)



トンボを捕まえて、田んぼの生きものを調べるよ。



昆虫を調べるために、森の中で昆虫採集をするよ。



採集ができたら、慎重に標本づくり。生きものへの関心が強くなるね。



川辺の生きもの調査。網でガサガサ、何が採れるかな?

生物多様性

地球上にはいろんな生きものが棲んでいるよ。

動物や植物、昆虫、プランクトン、細菌類・・・

それは、地球上に最初に生命が誕生したおよそ40億年前から親から子へと引き継がれ、進化の道のりをたどってきたからなんだ。

真剣に考えなければならないのは、

これらの多くの生き物が暮らす多様な自然環境が、

人間が生きるために欠かせない恩恵を与えてくれていること。

きれいな空気は植物がなければできないし、

お腹を満たすのも、難病を治す薬だって、

自然から与えられているんだよね。

もうひとつ、忘れてはいけないことがあるの。

それは「生物多様性」というものは、

人類のためだけに存在しているわけではないということ。

急速に進む人間の文明社会は、「生物多様性」をこわして、

世界中で問題を引き起こしつつあるのよ。

人がどうやって自然と共生していくか。

むずかしい問題だけど、避けて通れない永遠のテーマなんだ。



生物多様性 2050 なごや戦略

生きものと共生する持続可能な都市を実現するための愛知県名古屋市の戦略。2050年に向けたビジョンで、「身近な自然の保全・再生」と「生活スタイルの転換」の二つの観点から、「多様な生きものと生態系に支えられた豊かな暮らしが持続していく都市なごや」を市民とともにめざしています。

【戦略】

1. 自然に支えられた健康なまちの創造
2. 環境負荷の少ない暮らし・ビジネスの創造
3. 自然とともに生きる文化の創造
4. まもり・育て・活かすしくみづくり

